

# 平成21年度 FCP「アセスメントの効率化」研究会について

平成21年5月27日

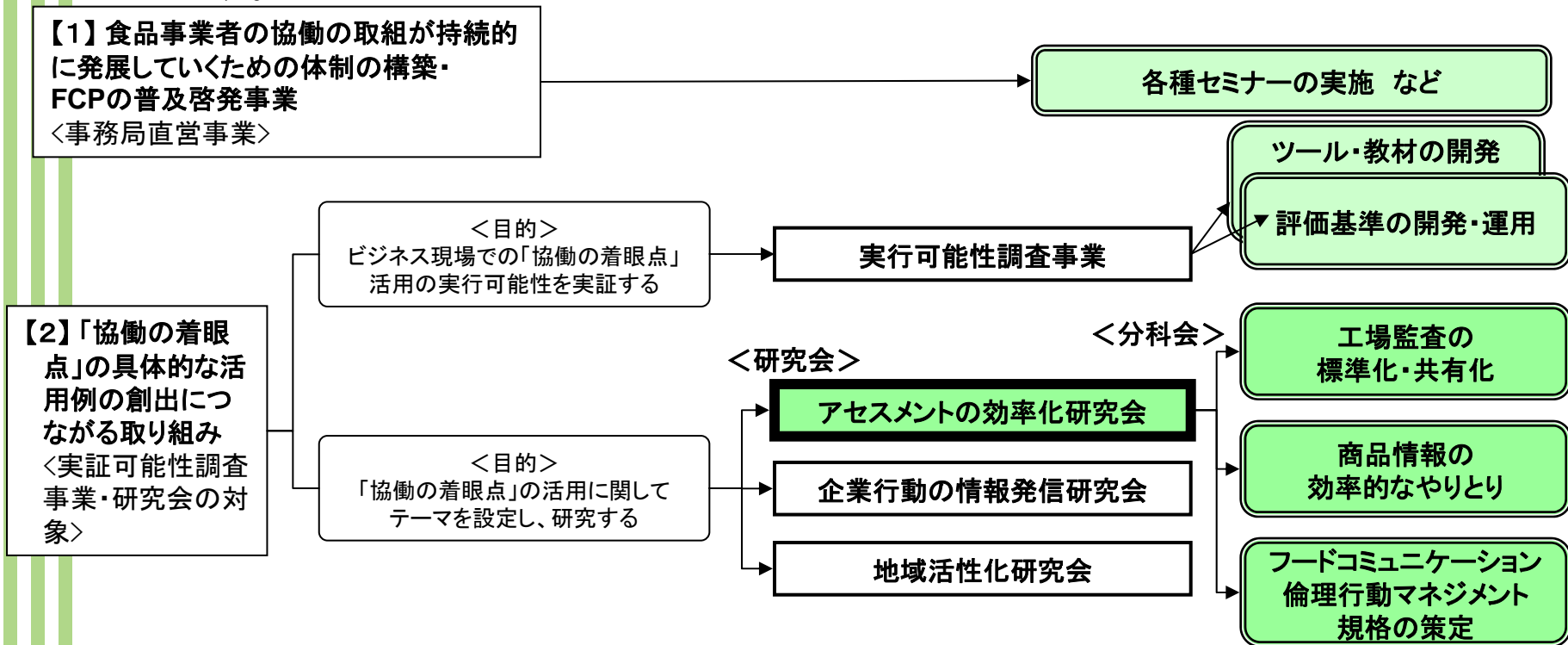
フード・コミュニケーション・プロジェクト事務局

# 2009年度「アセスメントの効率化研究会」の目的

- 2009年度は、フード・コミュニケーション・プロジェクト(以下「FCP」とする)の基本的な考え方に基づき、3研究会に分かれて「協働の着眼点(第1版)」の活用方法の研究や活用事例の収集と普及を目的に情報の共有と意見交換を行います。
- アセスメントの効率化研究会では、特に「食の安全・信頼確保のための食品事業者の取組に関する情報」が関係者間で円滑にやり取りされ、共有されるよう、「協働の着眼点」活用方法の研究と、活用事例の収集を行います。これらの取組を通して、フードチェーン全体の透明性を高め、消費者の食に対する信頼向上に図ることを目指します。
- これらの目的のため、アセスメントの効率化に向けた課題を検討する分科会及び実行可能性調査で得られた成果等の情報を共有し、広く普及させるための意見交換を行います。
- 研究会での収集した情報、意見交換をもとに「協働の着眼点」に対する改善提案、今後の食品事業者としての取組、次年度の研究テーマについて提言を行います。

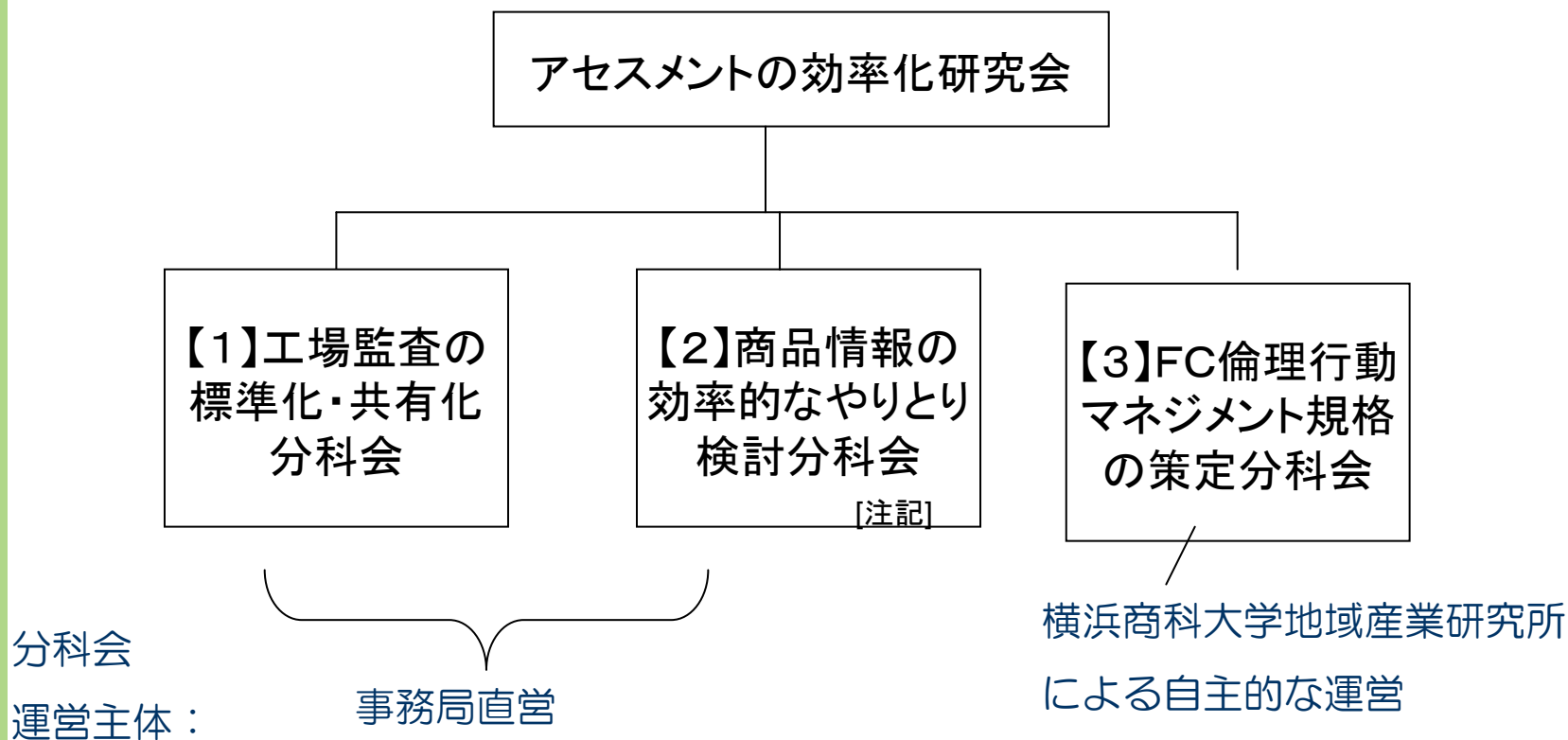
# FCPの全体構成と「アセスメントの効率化研究会」

- 平成21年度のFCPの全体構成は下図の通りです。
- アセスメントの効率化研究会では、「工場監査の標準化・共有化」「商品情報の効率的なやりとり」「フードコミュニケーション倫理行動規格の策定」の3つの分科会を立ち上げます。またアセスメントの効率化研究会は、実行可能性調査事業として予定されている「食品事業者業務評価基準の開発・運用」「協働の着眼点を活用した活動のためのツールや教材の開発・運用」などの活動や、事務局直営事業であるセミナー等と緊密に連携をはかっていきます。





# 2009年度アセスメントの効率化研究会内設置分科会



[注記] 商品情報の効率的なやりとり検討分科会は、2009年度10月頃から開催予定です。

○アセスメントの効率化研究会の情報共有ネットワークの構築  
メーリングリストを作成し、「協働の着眼点(第1版)の活用事例等」に関して、  
研究会に所属するメンバー間の情報共有を促進します。

# 分科会の運営について

- (1) 事務局直営分科会への参加は、期間を定めて募集を行います。原則として途中からの参加はできません。
- (2) 分科会の資料・議事概要については、ホームページ等で原則公表します。その際議事概要等は、発言者が特定できないようにしてから公表いたします。

ただし分科会の議論内容が、企業秘密に触れたり、個人の権利・利益を害する恐れがあると判断した場合には、分科会資料等を非公表とします。
- (3) 分科会のアウトプット等は、FCPの成果として公表することを原則とします。